令和6年2月 教育委員会定例会議事録

1. 日 時	令和6年2月19日（月）	午前10時00分 開会	午前11時20分 閉会
2. 件 名	河南町教育委員会定例会		
3. 開催場所	河南町役場 庁舎4階 401会議室		
4. 出席委員	教 育 長	中川 修	
	教育長職務代理者	西川 幹雄	
	委 員	藤原 充	
	委 員	高井 美恵子	
	委 員	杉田 みはる	
5. 事務局職員	教・育部長	谷 道広	
	教・育部副理事兼指導主事	内山 裕生	
	教育課長	藤井 康裕	
	こども1ばん課長	山田 恵	
	生涯まなぶ課長	森 弘樹	
	給食センター所長	浅井 明郎	
	教育課長補佐兼指導主事	柏木 俊介	

(審議内容)

教育長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>だんだん春に近づいてきています。この2月の後半から3月は、三寒四温と言って、徐々に春に近づいていくという、何となく心も浮き浮きするような感じもありますが、寒くなるときは一気に寒くなるし、温かくなるときは一気に温かくなるというこの差が厳しいと思います。</p> <p>しかしながら、この河南町では、逆にそういう変化を感じるというか、街中だと、自然から何かを感じるというようなことはないまま過ごしていたかもしれません。そういう意味では河南町の良さを大事にしていきたいし、子どもたちに伝えていくことも大事です。</p> <p>学校やこども園、他のところもそうですけども、2月・3月は年度替わりの準備、或いは本年度の締めくくりの時期ですので、1つ1つの行事等が、意味のある時期に入ってきました。</p> <p>例えば小学校或いは中学校で言うと、今まで最上級生として頑張ってきた中学校3年生や小学校6年生から次の学年にバトンタッチをするような場面であったり、そういう特別なイベントがある。そんなときに、それがうまくいくと、ものすごく感動する場面もあったり、或いはそれぞれの子どもたち自身が、やりがいを感じたり、或いは次へのステップに向けての心構えであったり、やる気であったり、そういったものを確認できるような期間になります。</p> <p>学校はあと4週間ほどです。中学校3年生はもう3週間しかないのです、1日1日を大事にしてもらいたい。そんなことを学校と共有しています。</p>
-----	---

	<p>あと、社会教育の方のイベントも、この25日にあそびの広場・スポーツ広場が開催されます。去年も多数来場がありましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類引き下げになったので、そういう意味では多くの皆さんに集まっていたきたいと期待しております。</p> <p>皆さん方も、まだまだこういう時期で季節の変わり目ですので体調管理にご注意いただきまして、本日もどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは令和6年2月の教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>まず初めに本日の定例会についての傍聴ですが、申し出はございません。</p> <p>次に本日の出席者は5名です。定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、藤原委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>ー異議なしの声ありー</p>
教育長	<p>ご異議ないようですので会議録署名委員は藤原委員に決定いたしました。</p> <p>それでは議事を進めさせていただきますが、本日は議会議案がありませんので、「第2. 諸報告、その他」に進めさせていただきます。</p> <p>まず「(1)令和6年度 市町村教育委員会に対する指導・助言事項について」、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>令和6年度の市町村教育委員会に対する指導・助言事項です。</p> <p>例年2月頃に、大阪府教育委員会から、次年度の方針等を示した資料が提供されております。</p> <p>河南町教育委員会としましては、この府の方針を受けまして、令和6年度の河南町としての学校への教育指針を作っていくこと、またそれを受けて、各学校園が4月に、学校の教育計画等に反映するという形になっておりますので、取り急ぎ資料としてお示しさせていただきました。以上です。</p>
教育長	<p>この件について何かご質問等ございますか。</p>
委員	<p>いただいた資料に「教育委員会の活性化」という項目があります。</p> <p>「教育の状況に関する情報の提供」というところで、「広報活動の充実に努めるとともに、住民の意向把握等の広報活動の充実に努めること」と記載されています。</p> <p>私たち教育委員は、地域の住民の方に意向把握の広聴活動をすることはおそらくないと思います。今後どういうスタンスでやっていくか、何か具体的なことがありましたら、お伝えいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今ご指摘いただきましたように、例えば我々がどのような形で、地域の住民</p>

	<p>さんにアナウンスをしていくのかと考えたときに、例えば学力向上に関する取り組みであったり、或いは体力向上に関する取り組みであったりとか、今まだ水面下でこれからやっていこうと思ってるものとしましては、教育委員会としても、教職員の働き方改革について保護者の皆さんにも知っていただく必要もあるかと思っております、その中で随時整理をして、今後努めて参りたいと思っております。</p> <p>ただ、当然、聞くという部分につきましては、学校が直接聞くことが多いと思いますので、そのあたりをまた適宜吸い上げていく必要があると思っております。</p>
委員	はい。
教育長	<p>他、よろしいですか。</p> <p>ないようですので次に「(2) 令和6年度 学校閉庁日の試行実施について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和5年度につきましては、夏休み期間中の第2週の木曜日・金曜日と12月28日で実施させていただいたのですけれども、木曜日・金曜日という表現でいきますと、8月のお盆の週であるときもあれば、そうではない週のときもあります。</p> <p>近隣の市町村と比べますと、こういった学校閉庁日を設けることで、教員の働き方改革につなげるという市町村が増えているような印象であります。</p> <p>よって、次年度は、8月10日から15日、当然夏休み期間中は部活動があるのでのですけれども、そして冬季休業期間中は12月28日、冬休みにつきましては、中学校は進路に関することが気になる時期ではありますが、校長会等での意見を整理して、このような設定で進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>働き方改革に係る学校閉庁日についてということですが、これについて何かご質問とか、ありますでしょうか。</p> <p>ないようですので、次、「(3) 令和5年度修了式・卒業式及び令和6年度入園式・入学式について」、事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>まず、校長会の方から、教育委員の皆さまに令和5年度卒業証書授与式のご案内をお預かりしておりますので、そちらをお渡しさせていただいています。</p> <p>今回、令和5年度卒業式の関係、それと令和6年度入学・入園式の日程の調整ということでご案内させていただきたいと思っております。</p> <p>資料3-1の方なのですけれども、まず特別職のローテーションについて整理のさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、上の方に、令和元年度から令和5年度ということで、一覧にしておる</p>

	<p>のですけれども、この近つ飛鳥小学校、かなん桜小学校の入学式・卒業式、それと中村こども園、石川こども園の入園式・修了式について、町長と教育長の動きをまとめています。</p> <p>過年度、小学校統合やこども園開園といったことがありまして、町長と教育長の動きがバラバラになっていた流れがあるのですけれども、近つ飛鳥小学校とかなん桜小学校が同日開催になってきますので、片方の学校に町長、もう一方に教育長ということで分かれていただくように整理をしています。</p> <p>こども園については、入園式が別の日ということが多いため、町長も教育長も両方出席していただけます。</p> <p>別の日になっている場合は、それぞれ町長、教育長が出ていただくという流れになっています。</p> <p>これを踏まえまして、資料3-2ですけれども、今回の令和5年度の修了式・卒業式、令和6年度の入園式・入学式のそれぞれの出席の予定ということでまとめておりますので、ご希望とか、ローテーションを含めて、何かご意見等ありましたらお聞かせいただければと思っております。</p>
教育長	この件について、いかがでしょうか。
委員全員	<p>(委員間で出席予定を調整)</p> <p>近つ飛鳥小学校 卒業式 西川職代(告辞)、高井委員、杉田委員 入学式 教育長、高井委員、藤原委員</p> <p>かなん桜小学校 卒業式 教育長(告辞)、藤原委員 入学式 西川職代、杉田委員</p> <p>中村こども園 修了式 西川職代(告辞)、藤原委員 入園式 教育長、西川職代、高井委員</p> <p>石川こども園 修了式 教育長、高井委員、杉田委員 入園式 教育長、藤原委員、杉田委員</p>
教育長	今年から教育委員ほか、来賓の席順が変わったということは確認しておく必要がありますね。
事務局	<p>ご案内が遅れて申し訳ありません。来賓の席順について、近隣市町村の話を聞いて整理させていただきました。</p> <p>従来は、町長、河南町議会の議長、教育長、そして教育委員の皆さま、府議会議員、国会議員、副議長その他の町議会議員という並びだったのですけれども、近隣市町村と比較しますと、河南町は少数派でした。</p> <p>今回、町長の次に主催者側ということで、教育長と教育委員の皆さん、続い</p>

<p>教育長</p>	<p>て、我々河南町の議長、そして国会議員、府議会議員、河南町議会の副議長、議員という並びに、南河内市町村でオーソドックスなスタイルにするように学校とも相談させていただきました。</p> <p>特段大きな影響があるというものではありませんが、いつもと雰囲気が変わってきますので、事前に共有しておければと思います。</p> <p>他にないようですので、次に「(4) 不適切な指導について」、進めさせていただきますが、これにつきましては児童の個人情報がありますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づきまして、これより非公開としたいと思います。</p> <p>お諮りします。</p> <p>「(4) 不適切な指導について」を非公開で行うことに賛成の方の挙手をお願いいたします。</p>
<p>委員全員</p>	<p>———— 全員挙手 ————</p>
<p>教育長</p>	<p>挙手全員と認めます。</p> <p>これによりまして、「(4) 適切な指導について」は非公開とすることにしました。</p> <p>会場の閉鎖をお願いします。</p> <p>———— 会場封鎖 ————</p> <p>会場の封鎖を確認しました。</p> <p>※※※※※※※ 以下 非公開 ※※※※※※※</p> <p>では次に、「(5) 河南町教育委員会体罰及び不適切な指導に係る措置基準(案)」について、事務局の説明を求めます。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは資料をご覧くださいと思います。</p> <p>5-1はフロー図で、河南町教育委員会体罰及び不適切な指導に係る措置基準案をまとめております。</p> <p>5-2は、関係法令や通達ですので、これは必要に応じてご覧いただければと思っております。</p> <p>この資料5-1ですけれども、さきほどの案件とも関係しておりまして、実は1月29日に河南町立等学校園支援チームの準備会を開催させていただいたのですけれども、その中で1つ、案件の中に入れさせていただいたものです。</p> <p>1月29日の学校園支援チームは、準備会ということで、顔合わせというこ</p>

とを含めて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカースーパーバイザー、スクールロイヤー、臨床心理士、各学校園の管理職、我々事務局が一堂に会してお話することができました。

実務家集団ということで、それぞれ活動していただいております、学校の方にも入っていただいておりますが、実務家同士が顔合わせる機会が必ずしも全員とれてるわけではなかった。

こうして顔を合わせて話をする場ができたことはまずありがたいという意見をいただいております。

今回は準備会ということなので、個別の案件ということで進めていたわけではないのですけれども、町のいじめ、不登校の現状ということで、件数とか傾向ということを共有させていただきました。

弁護士の先生からは、件数だけではなく、今後は、例えばいじめではどういう案件があるかということも、聞かして欲しいということで積極的なご意見をいただきましたので、今後は、令和6年度に向けて、そうした場を活用していきたいと思っています。

その会議の中で、この不適切な指導・保育に係る案件も入れておきまして、その中で出したものがこの資料になっております。

先ほどもケースがあったと思うのですけれども、本年度に入って、教育委員会事務局の方でも、こうした不適切な指導に係るものを2件把握しております。

そのいずれのケースについても、この案件が果たして体罰になるのかどうか、不適切な指導になるのかどうかというところが、学校現場の方でも、そして事務局の方でも、果たしてどうなのかというところでありましたので、そこを整理する意味で、今回の案を作っております。

それでは中身についてお話をさせていただくのですけれども、まず、この事案発生からスタートするフロー図になっており、大きく分けて、まず体罰に当たるかどうかという視点と、不適切な指導に当たるかどうかという視点で、この2段階に分けて考察するものとなっております。

体罰というものは、まず、文科省の通達によると、その懲戒の内容が身体的性質のものであるかどうかということにかかっているということで、この身体的性質というのは、例えば傷をつけるような身体に対する侵害、それと傷はなくても肉体的な苦痛を与えるようなものは身体的性質のものということで、体罰となってきます。

ですので、暴言、これも例えば人権差別的な発言といったレベルのものはさておいて、大声での指導というものは、基本的には身体的性質のものには当たらないということになってきます。

まず、事案が発生してから、その内容が身体的性質のものであるかないのかということ判断していくことになるのですけれども、これは総合的客観的に判断しなければならないということで文科省の方から通達がありまして、例えば小一の児童に対する話と、中三の生徒に対する話では、量的なものとかが変わってきますので、そういったことをいろんな条件を勘案して判断をしな

いということになっています。そしてその中で、これが身体的性質のものであるとなった場合に、次にこれが正当な行為かどうかという観点があります。

これは例えば、正当防衛というようなことを考えていただけたらと思うのですが、すけれども、例えば身体に対する侵害とか、肉体的苦痛を与えるようなものになったとしても、正当防衛のような場合については、これは体罰に当たらないということになってきます。

この正当行為にも当てはまらないというときに、次に、わざとかどうか、故意があるかどうかという観点を設けています。これは、例えば傷を負わせるようなことになったとしても、例えば振り向きざまにたまたま当たってしまって傷を負わせるような場合というのは故意がないわけです。こうした場合には体罰に当たらないだろうと考えています。

ところがこの正当行為にも当てはまらず、しかも意志的なもの、故意があったという場合は、町教育委員会としては体罰に当たると推定をしまして、任命権者である大阪府教育委員会に報告をして、例えば停職であるとか減給であるとか、そういった処分については、行政処分として、大阪府の方がしていくこととなります。これがまず1つ、体罰に係るフロー図です。

今のフロー図の中で、ノーとなった場合についても、次は不適切な指導であったのではないかという観点が出てきます。

先ほどのご説明した暴言といったようなものも含めて、体罰に当たらないけれども、次、不適切な指導となるのじゃないかという観点で見ていくこととなります。

不適切な指導については、今回改正された生徒指導提要の中で、初めて例ということでクローズアップされました。

別紙1ですけれども、生徒指導提要から抜粋しております。

例えばものを叩くといった威圧的、そして感情的な言動で指導するような場合や思い込みで指導するような場合が生徒指導提要の中では不適切な指導と考えられる例として挙げられています。

こうした例に当てはまるかどうかというところがまず1つの観点でして、例に該当または準ずるものでないということであれば、基本的には措置はありません。一方、ここで不適切な指導に当たるんじゃないか、イエスのほうになった場合、次にその指導に至った背景に妥当性があるかないかという観点になっております。

これは別紙2をご覧くださいなのですが、指導に至った背景の妥当性についての考え方です。

例えば、児童生徒に被害が及ぶような場合、何か危険な状況が予見されるような場合を想定しています。

例えば、大きな声を出すのは、外形的には不適切な指導にあたるものですが、それが子どもにとっての危険を排除するためのものであれば、大声を出すという行為は、妥当性があるということになってきます。

ところが、給食を食べさせずに、その時間中に指導をするというのは、妥当

性があるのかないのかというところで見ると、基本的にはないだろうという話になって、妥当性がないという判断をしていくのですけれども、妥当性があるという場合でも、下の方にフロー図行くのですけれども、その対応が過剰である、相当性を欠くといった場合は、不適切なものになってきます。

例えば大声で危険を排除するような場合、とっさに大きな声を出すことは、妥当性があるとしても、そのとき、「このアホ」みたいな、暴言のようなことが入る必要性は全くないわけで、そうした感情が入ったような過剰な言動の場合は、相当性を欠くだろうということになっています。

そうした相当性を欠くような行為については、管理職及び当該教員に対して措置ということを予定していきまして、管理職に対しては、教育委員会からの口頭注意と報告書の提出ということを求めていきます。

当該教員等に対しては、指導ということによって管理職からの口頭による注意を予定しています。

こうして、それぞれの事案について、このフローチャートによって、措置の重い軽いをつけていくわけですが、この妥当性がないような場合については、訓戒・戒告・嚴重注意に当たるものと推定をしまして、これも任命権者である大阪府教育委員会に報告をしていくこととなります。

そして任命権者の方で、どういう措置が妥当かというところを検討されますので、それに応じた処分ということになります。

一番重いのが、訓戒ということになっていますけれども、その他訓告・嚴重注意があり、それらが出た場合については、町教育委員会からその措置を行い、当該教員については顛末書の提出を求めています。

管理職については、教育委員会から文書による注意を予定していますが、別途、任命権者から管理職に対する措置判断があった場合は、それに従っていくこととなります。

このケースで、任命権者の方でも嚴重注意には当たらないと、特に何もなしとなった場合でも、もちろん妥当性がないような場合ですので、次の観点は、それが複数継続的に行われているかとなっています。複数継続的に行われると、児童生徒に対する影響というのも大きくなってきますので、こうした観点で、それぞれ文書注意、口頭注意ということで、重き軽きを設けていきます。

このように、まず体罰に当たるかどうかという判断、それと不適切な指導に当たるのじゃないかという視点での考察をフローチャートとしてまとめることで、まず教員の先生方に対して、セルフチェックのような意味合いで、こういうことは当然してはいけないということは、日頃から研修等で聞いておられるはずなのですけれども、改めてセルフチェックをするような活用の仕方がまず1つ。

それと、大阪府教育委員会にも話を聞く中で、この訓戒・訓告・嚴重注意といったものについては、どういうものが、何にあたるということは、実は判断基準が明確なものはないということなのですけれども、町としてはそれぞれ重き軽きを置いて、一定、措置の想定ということをしておくことで、判断がぶれ

ないということで対応してまいります。

例えば、保護者の方がもういいよと言っていたとしても一定の措置が必要になる場合もあるでしょうし、逆に保護者の声が大きいたとしても、過去の例と合わないような形で処分をするということも不適切だと思いますので、一定、どのような措置をするのかという想定をするのがこのフロー図となっています。

当然、画一的に処理できるものではありませんので、総合的な判断と個別の判断という要素は強いと思いますが、事例を積み重ねることで、ぶれないような基準になっていくのかなと期待をしています。

現時点で案ということでお示しをしていますけれども、今後手続きをして進めていけたらと思っております。

学校園支援チームの中で、弁護士さん含めて特に異論等はなく、事務局側で手続きを進めてくださいというお話でしたので、今後進めていこうと思っております。以上です。

教育長

(4)の案件もあつてのことと認識していただいてもいいかなと思いますし、確かに先ほどもあつたように、今までであれば何かあつたときにフィードバックして研修というだけではないけれども、そこからもう1歩踏み込んでというのが、今回の措置基準案になります。

何かご意見等ありますか。

さっき説明の中にもあつたように、これは一人一人の教員にしっかりおろしていきたいと思っておりますし、そのことが意識の変化というか意識の改革というか、「これぐらいは大丈夫だろう」という意識は変えていかなくてはならない。

措置する側も、ぶれないようにしなくてはならない。

だけど、そんな簡単にフローチャートの通り、すべてがいくかというところではないと思います。それは別紙1とか別紙2と常に照らし合わせながら、しっかりと判断をしていく中で、しっかり立ちどまって、これに基づいて考える。この点が今までとは違うものだ我々は感じているので、1つの大きな基準にしていききたいなと思っております。

よろしいでしょうか。

それでは、次に「(6) 河南町特定教育・保育施設及び、特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」、事務局の説明を求めます。

事務局

それでは、資料6をご覧くださいと思います。

2月議会に提出いたしまして可決されました条例の一部改正についてのご報告します。

「議案第42号、河南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、河南町特定

教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を、別紙の通り制定するものとする。令和6年2月14日提出、河南町長森田昌吾」

めくっていただきまして、この本条例の提案理由のご説明をさせていただきます。

主な改正の内容の1つ目は、就学前の子どもに関する教育保育等の総合的な提供の推進に関する法律、いわゆる認定こども園法の第3条第11項が、同条第10項に条ずれすることを受けて必要な改正を行うものでございます。

2つ目は、デジタル原則に照らした規制の一括見直しプランにおいて、標識等について、書面の提示等を義務づけている規制について、インターネットを利用して、公衆の閲覧をしなければならないこととする。

また、現行法上フロッピーディスク等の特定の記録媒体での提出を求める規定について、新たな情報通信技術の導入・活用に円滑に対応できるよう、見直しを行うことなど、見直し方針が示されたことを踏まえて、所要の改正を行うものでございます。

改正条文については、条例新旧対照表によりご説明いたします。

横の形になっております。

新旧対照表ですけれども、まず15条の特定教育・保育の取扱方針における改正については、認定こども園法の条ずれの改正で認定こども園法第3条第10項となります。都道府県知事に認定の申請書の写しを送付しなければならないとの規定が削除されることに伴うものです。

次に第23条です。提示等の改正については、標識等について、書面の掲示に加えて、インターネットを利用して公衆の閲覧に供することが加えられたことによるものです。

次に第36条です。特定教育・保育施設（認定こども園又は幼稚園に限る。）を特定利用教育を提供している施設に限ると読みかえ規定を改正するものです。

次に第53条です。電磁的記録等の改正については、新たな情報通信技術の導入、活用に円滑に対応できるようにするため、保護者への書面等の交付・提出の方向について磁気ディスク（フロッピーディスク）等から、媒体の種類を示さない形の電磁的記録媒体に改正を行うものです。

附則といたしまして、この条例を公布の日から施行します。

ただし、第23条の改正規定は令和6年4月1日から施行します。

以上です。

教育長

今説明いただきましたが、この件について何かご質問、よろしいでしょうか。それではないようですので、次に「(7) その他」について進めさせていただきますが、事務局から何かありますか。

事務局

生涯まなぶ課からご説明させていただきます。

	<p>お手元にお配りさせていただいておりますオレンジのチラシをご覧くださいと思います。</p> <p>町青少年指導員連絡協議会主催の遊びの広場が2月25日（日）午前10時から、ぷくドームで開催されます。</p> <p>また同時に、町体育協会・スポーツ推進委員協議会主催で、スポーツ広場が、こちらはぷくアリーナで開催されます。</p> <p>今年は、藤井寺市の青少年指導員さんのご協力による焼き芋販売や、JAF 日本自動車連盟による交通安全に関する出し物、ファイアジュニアによる啓発活動、子どもの保護者世代を対象にした検診受診勧奨イベントなども行われる予定でございます。</p> <p>お時間がございましたらぜひお越しくださいますようよろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>冒頭にも触れましたが、数多く集まっていたいて、いい場になればなと思ってます。この件について何か。</p>
委員	<p>1つだけ補足説明です。</p> <p>今年は協力団体が増えまして、ここにありますように藤井寺市青少年指導員会がこのチラシの真ん中にある焼き芋販売をやってくれます。</p> <p>先月、南河内ブロックの全体研修会で、この焼き芋を参加者全員に配ってくれました。このゆめシルクという品種の芋が藤井寺の特産品だそうですね。とても甘いのですよ。今度のイベントでぜひできたらいいなというふうに思ったので、藤井寺の会長にもダイレクトにオファーしました。</p> <p>ぜひ協力して欲しいとお願いすると、もう1つ返事で、やらせてもらいますということで、決まりました。</p> <p>それとあと JAF の子ども運転免許証もさせていただきます。</p> <p>日本人の古い言葉で、衣食住足りて礼節を知るといふことがあるのですが、食生活というものは、非常に大きな生活の楽しみですね。</p> <p>だからこういうイベントで、今までおにぎりを300人分握ったり、豚汁を全員に提供することをずっとやってたのです。</p> <p>ところがコロナ禍でそれがシャットアウトされて、この6年間は全く衣食の提供ができなかった。</p> <p>今回、久しぶりにこの焼き芋をやります。</p> <p>委員の皆さんも、子どもたちがワイワイワクワクしながら頑張っている姿を見ていただきたいと思います。</p> <p>私は常に言い続けているのですが、子どもたちは、挑戦する夢を諦めない夢中になれる能力を持ってるのです。</p> <p>その夢中になれる能力を君たちは持ってるんだよということを、汗をかきながら丸太を切る、竹を切るということをしながら、体験型のイベントを通じて、その気持ちを少しわかってもらいたいという思いで、年々こういうコーナーを</p>

	<p>ふやしていきたいと思います。</p> <p>去年は460名ぐらいの参加が保護者を含めてありました。</p> <p>おそらく今年は500名を超えるであろうという見込みを立てています。500人集まってくただくイベントはなかなか近隣でもないので、ぜひ皆様のご協力をいただきながらしていきたいと思います。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>これはどういう形でアピールしておられるのですか。</p>
委員	<p>学校を通じてお知らせしています。</p> <p>最近、噂を聞いて富田林とか違う地区からも来場してくれて、嬉しいかぎりです。</p>
教育長	<p>ぜひ盛大になりますように。</p> <p>他よろしいですか。</p> <p>ないようですので、以上をもちまして、本日の議事日程はすべて議了いたしました。</p> <p>これをもちまして、2月の教育委員会定例会を閉会いたします。</p> <p>次回開催日は令和6年3月25日（月）14時からと決めていただいております。</p> <p>また、4月定例会は、令和6年4月24日（水）10時からの開催といたしますのでよろしくお願いします。本日はご苦労さまでした。ありがとうございました。</p>

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名